

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第4回朝霞第五小学校学校運営協議会	
開催日時	令和8年2月17日（火） 午後14時00分から午後15時30分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第五小学校 体育館3階 会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	白鳥成章 田辺敏晃 橋本太樹 蔵田ひと美 正野寛樹 菅原慎也 田邊雅也 司会：猪狩一史 記録：尾崎真由美 ※【欠席】 高野友則 飯倉昇明	
議題	(1) 令和8年度 学校経営方針について (2) 令和8年度 年間行事計画について	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度 第4回学校運営協議会 次第</li> <li>・ 令和7年度 学校自己評価</li> <li>・ 令和8年度 年間行事計画</li> </ul>	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 司会・記録による確認	
傍聴者の数	1人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

《学校関係者評価委員会》

- 1 開会
- 2 令和7年度学校自己評価について
- 3 学校関係者評価委員から
- 4 質疑応答

・生徒指導について

正野：いじめの認知件数について実態はどうか。

猪狩：他校に比べると、少ない傾向。重大案件はない。

校長：認知件数はささいなものでも認知することで、件数が多くてもよいと言われている。迅速な初期対応を行っている。管理職が一緒に対応にあたっている。

白鳥：見つけているのか、少ないのか、実態が分からない。

校長：「いじめ」の認識が昔とは違う。児童の実態に寄り添って、総合的に判断している。

・体力向上について

菅原：体力は例年に比べてどうか。

教頭：今年度の結果から分析する。来年度に生かしていく。

・特色ある学校づくりについて

橋本：地域のつながりを強く感じる1年だった。

- 5 閉会

《令和7年度第3回学校運営協議会》

- 1 開会の言葉（教頭）

- 2 会長あいさつ

正野：1年間大きな問題なかった。無事残りも終わるとよい。実りある協議にしていきたい。

- 3 校長あいさつ

校長：1年間、ご協力ありがとうございました。

教頭：それでは議事に移らせていただきます。この会議は原則公開するものとなりますが、委員の皆様には、ご賛同いただけますでしょうか。  
(委員のうなずき)

教頭：本日の会議は、委員9名のうち、半数以上の出席がありますので、朝霞市学校運営協議会規則第10条により、成立となります。

## 4 熟議

### (1) 令和8年度学校経営方針について

#### ・地域との共創について

1年生は、クラスごとに幼保との交流を行った。2年生は、町たんけん地域へ出かけた。3年生は、白石さんを通してよさこいを学んだ。4年生は、防災アドバイザーから防災を学んだ。5年生は、リゾンの協力で、「五小の魅力紹介」を地域に向けて行うことができた。6年生は、地域の方と交流して家庭科の学びを充実させることができた。その他にも、オペラ歌手を呼んで音楽鑑賞授業、学校歯科医の協力をいただき、学校保健委員会なども行い、1年を通して地域と関わる学校づくりを行うことができた。

#### ・令和8年度の委員について

来年も引き続きお願いしたい。今後は、委員の入れ替えも検討していきたい。

#### ・令和8年度学校経営方針について

60周年記念にむけて、「自分で 自分から 誰かのため 何かのため それが 未来のため」をキーワードに学校運営を行っていく。授業サポーターズ、学校運営協議会委員を巻き込み、さらに外部連携も進めていく。さらに、環境整備、週時程改革、働き方改革も進め、児童の学びの充実へつなげていきたい。11月21日に児童の探究発表を学校公開で行う予定。PTAや外部団体とも連携して「五小フェス」を開催する。学校運営協議会委員の皆様のご協力もいただきたい。町内会なども巻き込めないか、色々なアイデアを探していきたい。

### 【質疑応答】

正野：学校経営方針の一つとしてあげるならば、「五小フェス」の主催は学校か。

お金の出どころにも関係してくる。

白鳥：「五小フェス」と総合的な学習の関連について、別物かそうではないのか。

校長：子どもの探究のサイクルからの姿であり、授業の一環として考えている。

白鳥：働き方改革との兼ね合いは。現場の先生方の声は。

教頭：カリキュラムマネジメントを最大限に生かしていく。

校長：地域との打ち合わせ等、一定のルールは必要。

菅原：授業サポーターズに入らせてもらって、保護者・地域の方にも多く知ってもらいたいという気持ちが高まった。先生方の負担軽減にもつながる。

校長：児童の真剣な学びの姿を広めたい。支えてほしい。子どもに愛称で呼ばれるくらい学校運営協議会の方々にも、学校づくりに関わっていただきたい。

### (2) 令和8年度年間行事計画について

**【質疑応答】**

白鳥：時数削減についての現状は。

校長：余剰を削減していく動きがある。

菅原：修学旅行の時期が変わった経緯は。

校長：6年生の2学期の行事の関係。180名を受け入れられる宿泊施設の関係もある。

5 諸連絡（教頭）

- ・次回開催について

6 閉会の言葉（教頭）

終了